

ビーチボールバレー

(昭和 53 年、富山県朝日町で考案)

1. 特徴
 - ・既存のバドミントンコート、ネット等を利用して楽しめます。
 - ・ボールが柔らかいので、突き指の心配はありません。
 - ・ボールのスピードがやや遅く、知らず知らずのうちにボールをどこまでも追いかけるので、運動量も多くなります。
 - ・ボールが変化してくるので意外性に富み、初心者から上級者の方まで力量に応じてプレーを楽しめます。
2. 用具
 - ・ビーチボール用ネット(バドミントンネット可)
 - ・アンテナ
 - ・ポール(高さ180cm)
 - ・ビーチボール
 - ・得点板
3. コート
 - ・バドミントンのダブルスコートを準用し、以下のとおり設定する。
4. ゲームの進め方
 - (1) ポジション

1チームのプレイヤーは4人とし、前衛2人、後衛2人のポジションに位置し、サービス権を得るごとに右回りに1つずつローテーションする。
 - (2) サービス
 - ① サービスは1本。前衛右のプレイヤーが、主審の合図によってサービスコート内からアンダーハンドで相手コート内に打ちこむ。
 - ② サービスの前には、ボールを正面に構えて、身体および両足がネットと正対しないと、主審の合図が出ない。
 - ③ 正対の姿勢から1歩だけ前に踏み出してもよいが、サービスするとき、サーバーの両足の一部は床面についていること。
 - ④ サービスは、サイドアウトになるまで同一サーバーによって続行する。
 - (3) チェンジコート
 - ① 各セットごとに行う。(サービス権は前のセットで最初にサービスをしなかった側)
 - ② 第3セットは、いずれかのチームが5点先取した時、再び行う。
 - (4) 得点、サイドアウト及び勝敗
 - ① サービス権のあるチームが勝てば1点獲得し、逆でないチームが勝てばサービス権の移行のみとする。
 - ② 得点あるいはサービス権の移行は、アウト・オブ・バウンズなど、下記の反則を犯したときとする。
 - ③ 9点先取したチームをそのセットの勝者とする。
 - ④ 両チームが各々8点を得た場合は、2点勝ち越したチームをそ

のセットの勝者とする。

⑤ 3セットマッチで、2セット先取したチームを勝者とする。

5. ルール

(1) ボールの一部でもラインにかかればセーフ。(アウト・オブバウンズ)

(2) 4度以上プレーしたとき。(オーバータイムス) 但し、プレー中にボールがネットに触れた場合は、5度以上プレーしたとき。

(3) その他の反則(ドリブル、オーバーネット、タッチネット、インターフェア等)

* 6人制バレーボール競技規則に準ずるが、詳しくは「ビーチボールのルール」による。

長野県ビーチボール協会

上田市上田原58-3

事務局長 荒井 国男

Tel 0268-27-6156 Fax0268-27-6221

URL: <http://www.i-chubu.ne.jp/~lueda/>

E-mail: lueda@mb.i-chubu.ne.jp

ボール注文の問合せ先

(財)朝日町文化・体育振興公社

Tel 0765-82-1294